

白山ふるさと文学賞

第十二回 白山市ジュニア文芸賞 受賞作品

【島清部門】

小学生5・6年 作文の部 最優秀賞

「私の将来の夢」

広陽小学校六年

竹端^{たけはな}

真悠^{まゆ}

私は将来、薬剤師になりたいです。薬剤師は、病院や薬局で、医師の処方にもつて正確に薬を調合したり、薬の管理を行う仕事です。私が薬剤師になりたい理由は二つあります。

一つ目は、薬を通して病気を患っている人を助けたいからです。私のおじいちゃんは、約一年前に病気で亡くなりました。入院を何回もくり返し、毎日、薬を飲んだりして治療をしていました。私はどうして治療を頑張っていたのに、亡くなったのか不思議に思いました。なので、患者さんがどんなに重い病気でも応えんし、病気と闘っている人をたくさん助けたいと思いました。

二つ目は、人を笑顔にしたいからです。私が薬をもらいにいくと、薬剤師の方々は、

「大丈夫？お大事に。」

と、いつも笑顔で話しかけてくれて、とてもうれしいです。私は薬剤師が笑顔になってくれると、笑顔が薬のようだと思います。

そこで、私は薬剤師になるための道のりについて調べてみました。調べる前は、薬の研究など、薬に関する勉強だけを学ぶと思っていました。しかし、調べてみると、コミュニケーションの授業があり、薬に関わらないことも学べるのが分かりました。

まず、大学を六年間通い、国家試験に合格しなければなりません。薬学部に入り、薬に関するあらゆることを学びます。一、二年生では、基礎となる化学、生物、物理やコミュニケーションに関する授業をするそうです。コミュニケーションの授業は、患者さんに分かりやすく服用方法や使用方法を伝え、さらに必要な情報を引き出すためにあるそうです。色々な人と話せる機会だと思うので、とても楽しみです。三、四年生には、薬に関することより専門的なことを学び、五年生には、病院や薬局での実務実習をするそうです。そして六年生には、卒業研究を仕上げ、国家試験の勉強に取り組むそうです。国家試験の勉強も頑張らないといけないし、ハードなスケジュールだと思うので、

コツコツと頑張ればいいなと感じました。

そして今、薬剤師の実現のために、私は中学受験に挑戦しようと思っています。合格するために、私は猛勉強しています。しかし、何度もうきりめかけています。私は水球を習っています。きつい練習をして、やめたいと思ったことは数えきれないほどあります。それでもまだ続けています。その理由は、楽しいことを見つけたからだと思います。水球というのは、チームのみんなと助け合ったりして、戦うスポーツです。私は、協力して、試合をするのがとても楽しいです。だから、水球のように、勉強も楽しいことを見つけて、あきらめずに頑張りたいと思います。

そんな私に、必要なことが三つあります。

一つ目は、コミュニケーション能力を身につけることだと思います。正直、私は知らない人と話すことが苦手です。そのため、コミュニケーションの授業も少し不安なところもあります。だから、これから色々な人と話して、みんなが笑顔になるような練習をしていきたいです。

二つ目は、勉強の習慣を付けることだと思います。薬剤師になってから、常に新しい治療や薬などが登場すると思います。患者さんに対して適切な薬の説明などを行うためには、最新の医療情報について常に勉強を続け、身につけておく必要があると思います。だから、お金をコツコツと貯めるように、勉強もコツコツして、習慣を付けようと思います。

三つ目は、体力をつけることだと思います。ドラッグストアで働く、基本的に立ち仕事が多いそうです。接客などもするため、体力を使うと思います。他にも、夜間勤務もあるそうです。ねむくなりながらも、辛いと思います。しかし、一緒に働いている人のめいわくにならないようにするために、朝にねるといいう工夫も一つの方法ですが、体力をつけていきたいです。

私は、患者さんに笑顔をとどける薬剤師になるために、色々な人たちと話して、毎日コツコツ勉強し、あきらめずに頑張っていきたいです。

